新しい出荷規格を策定し、選ばれる『山うど』の出荷を目指す

▲出荷規格を説明する担当者

JA山うど部会は1月11日、収穫・出荷の最盛期を前に、山うど目揃会を開催しました。

桜田和浩部会長は「天候不順で作業が遅れ気味だが、新しい出荷規格で高品質な山うどの出荷に心がけてほしい。」と挨拶しました。新しい出荷規格では、山うどの各部位の処理・管理を精査し、見た目の美しさを追求。参加者たちは、さらなるブランド強化を目指し、高品質山うどの出荷を誓い合いました。

常盤小学校の舛屋幸都くんが、JA共済交通安全ポスターコンクールで金賞を受賞

▲受賞に笑顔を見せる舛屋幸都くん

JA共済秋田県交通安全ポスターコンクールの表彰式が行われ、金賞および秋田魁新報社賞を受賞した、能代市立常盤小学校1年生の舛屋幸都くんが表彰を受けました。

このコンクールは、児童たちが交通安全の重要性を学び、幅広く社会へ訴えることを目的に毎年開催されています。受賞した幸都くんは、「好きな動物たちと、横断歩道で手を上げて渡る大切さを描きました。家族が喜んでくれて、嬉しかったです。」と話してくれました。

農閑期を利用して、青果物の栽培知識を深める

▲管内から多くの生産者が訪れた講習会

能代市農業技術センターとJA青果物連絡協議会が主催する冬期野菜栽培講習会が、1月30日と31日の2日間にわたって、能代山本広域交流センターで開催されました。

この講習会は、農家に各作物の栽培知識を深めてもらい、複合経営を促す目的で、毎年農閑期に開催されています。今年は特産品である白神ねぎのほか、キャベツや需要のある人気野菜の栽培方法などについて説明が行われ、計6講座で約250名の方が参加しました。

1日目は、管内で栽培されているねぎの品種の特性や、昨年から栽培・出荷がスタートした、7月早取りねぎの概要と厳寒期の管理について説明したほか、家庭菜園や直売活動等にも向けて、人気のある野菜の栽培方法が説明されました。

2日目は、能代市農業技術センターによる、ねぎの品種別・肥料農薬別に行われた栽培内容のほか、ねぎの土づくりに向けた施肥体系を説明。またキャベツにおいて、25年度から導入する新品種『祝園』の特性や栽培方法が説明され、受講した参加者は熱心にメモを取りながら、栽培のノウハウを学んでいました。

▲今後の農業経営に向けて理解を深める

今月のあなたの運勢（2013年3月）

牡羊座（3・21～4・19） リラックス気分で過ごせる期間です。のんびり温泉に入り、英気を養って。クラシック音楽を聴くのもラッキー